



訪日外国人の消費動向

訪日外国人消費動向調査結果及び分析

平成 23 年 1-3 月期 報告書

本調査の実査における調査期間は1月20日～2月15日であることから、本調査結果から直接得られる旅行消費単価などの数値には、東日本大震災（3月11日発生）等の影響は含まれていません。

一方、JNTOが公表している「訪日外客数」には、東日本大震災等による減少分が反映されているため、旅行消費単価に「訪日外客数」を乗じて算出している旅行消費額には、東日本大震災等の影響が含まれています。

訪日外国人の消費動向

平成 23 年 1-3 月期 報告書

目 次

I 平成 23 年 1-3 月期における 訪日外国人の消費動向の分析結果

1. 訪日外国人の属性と旅行内容	
(1) 回答者属性	6
(2) 泊数	6
(3) 旅行内容	7
2. 訪日外国人の旅行支出	
(1) 旅行支出	10
(2) 手配別にみる旅行支出	11
(3) 来訪目的別にみる旅行支出	13
3. 土産品の購入実態	
(1) 費目別購入率	14
(2) 費目別購入者単価	14
(3) 買物場所	15
(4) 利用した金融機関と決済方法	15
4. 旅行情報源	
(1) 出発前に得た旅行情報	16
(2) 日本滞在中に得た旅行情報	17
(3) 日本滞在中にあると便利な情報	18

5. 満足度と再訪意向	
(1) 訪日旅行全体の満足度と再訪意向	19
(2) 今回実施した活動と 次回実施したい活動	19
(3) 活動別にみる満足度	20
(4) 最も満足した購入商品	20

II 訪日外国人消費動向調査結果

1. 調査概要	25
2. 調査結果の利用上の注意	25

<集計表>

第1表 国籍別 標本属性および旅行内容	表-1
第2表 居住地別 標本属性および旅行内容	表-7
第3表 主な宿泊地別 標本属性および旅行内容	表-13
第4表 国籍別 費目別購入率および購入者単価	表-33
第5表 居住地別 費目別購入率および購入者単価	表-34
第6表 主な宿泊地別 費目別購入率および購入者単価	表-35
第7表 国籍別 1人1回当たり旅行消費単価	表-39
第8表 居住地別 1人1回当たり旅行消費単価	表-42
第9表 主な宿泊地別 1人1泊当たり旅行消費単価	表-45
参考表 国籍別 旅行情報源・活動内容・満足度など	表-65

<調査票>

日本語、英語、韓国語、中国語（繁体字）、中国語（簡体字）

I 平成 23 年 1-3 月期における訪日外国人の消費動向の分析結果

1. 訪日外国人の属性と旅行内容

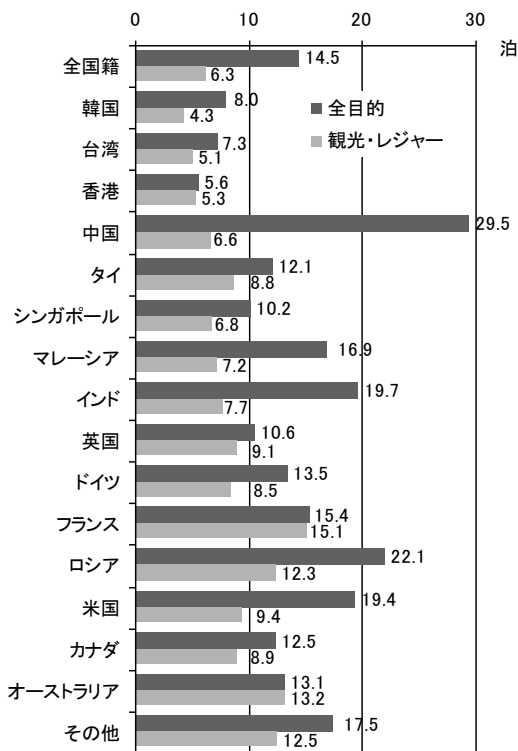
(1) 回答者属性

- 性別の構成比は男性 58.2%、女性 41.8% である。国籍別では、台湾で女性の割合が高く過半数を占める。
- 性年代別でみると、「男性 30 代」17.3%、「女性 20 代」14.9%、「男性 40 代」13.8% の順で多い（注：性年代別の構成比には調査対象外である 15 歳未満を含まない）。

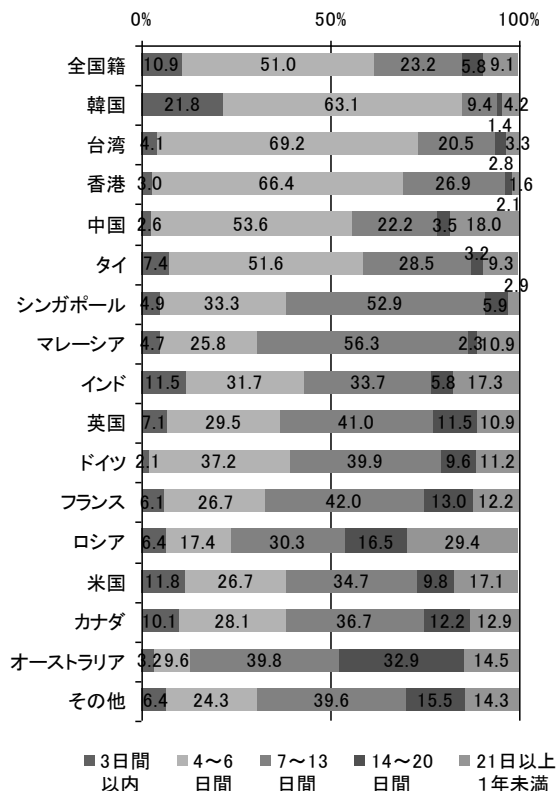
(2) 泊数

- 回答者全体の平均泊数は 14.5 泊である。今期は中国で留学生を中心とする長期滞在者の出国が多く、平均泊数が 29.5 泊と長くなっている（図表 1-1）。
- 滞在日数の分布をみると、6 日間以内の滞在が過半数を占める一方で、「21 日以上 1 年未満」の長期滞在者がおよそ 1 割を占める。国籍別では、韓国で「3 日間以内」の割合が 21.8% と高い（図表 1-2）。
- 観光・レジャーを目的とした訪日外国人の平均泊数は 6.3 泊である。東アジアからの観光客は平均泊数が短く、中国でも観光・レジャー目的に限ると平均泊数は 6.6 泊である。

図表 1-1 平均泊数（国籍別）



図表 1-2 滞在日数の分布（国籍別）

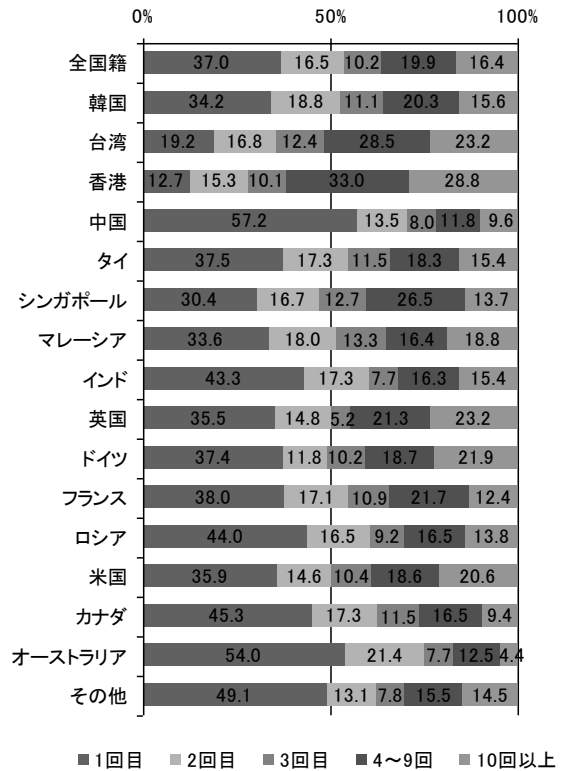


(3) 旅行内容

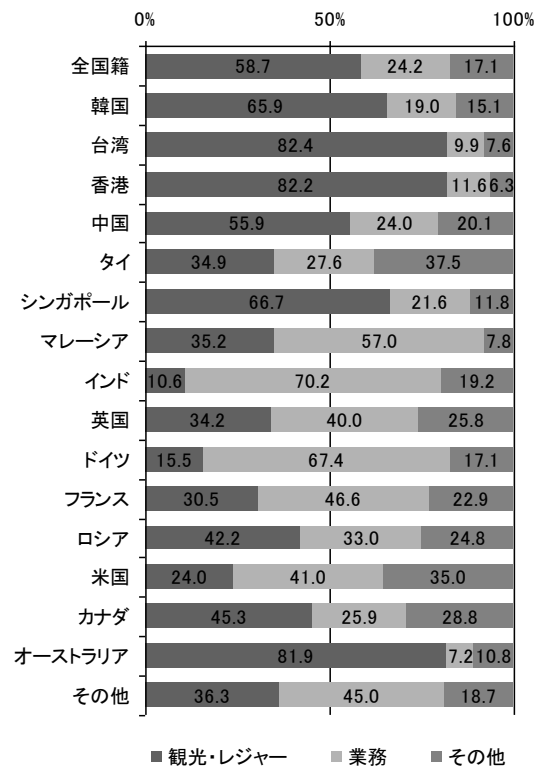
[全目的]

- 日本への来訪回数では、「1回目」が全体の37.0%、「2回目」が16.5%を占める。一方、「10回以上」も16.4%と少なくない。国籍別では、中国やオーストラリアで「1回目」の割合が高く、台湾や香港では低い(図表1-3)。
- 同行者(複数回答)は、「家族・親族」29.3%、「自分ひとり」26.7%、「友人」18.3%、「職場の同僚」14.8%、「夫婦・パートナー」12.2%の順となっている。
- 訪日外国人の主な来訪目的は「観光・レジャー」が58.7%を占める。特に台湾や香港、オーストラリアで「観光・レジャー」の割合が高い。これに対し「業務(展示会・見本市/国際会議/研修/商談等その他ビジネス)」目的は全体の24.2%を占める。インドではおよそ7割が「業務」目的である他、今期はドイツで「業務」目的の割合が高い(図表1-4)。
- 利用した宿泊施設のタイプ(複数回答)では、8割近くが「ホテル(洋室中心)」を利用している。「旅館(和室中心)」の利用率はおよそ2割である。東アジア(韓国除く)からの訪日客で旅館利用率が3割前後と高いほか、オーストラリアでも3割が旅館を利用している。
- 旅行形態では「団体ツアーでの来訪」が29.0%を占める。国籍別では、中国の同割合が45.9%と高い。

図表 1-3 日本への来訪回数(国籍別、全目的)



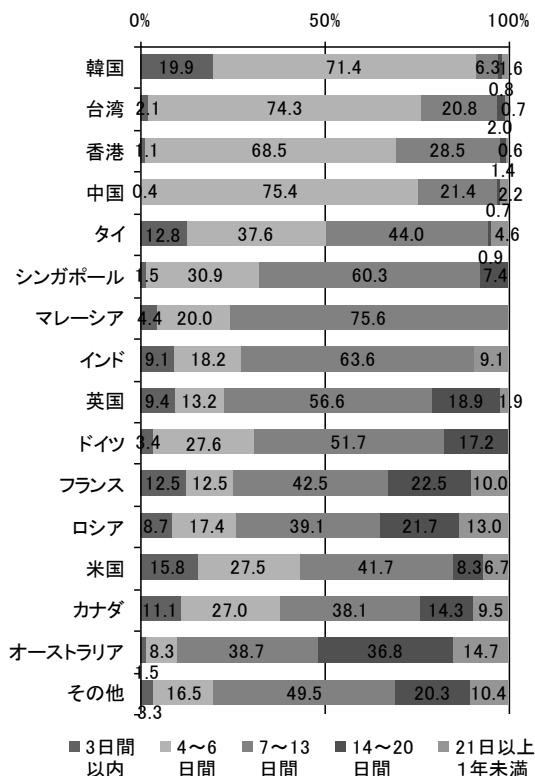
図表 1-4 主な来訪目的(国籍別、全目的)



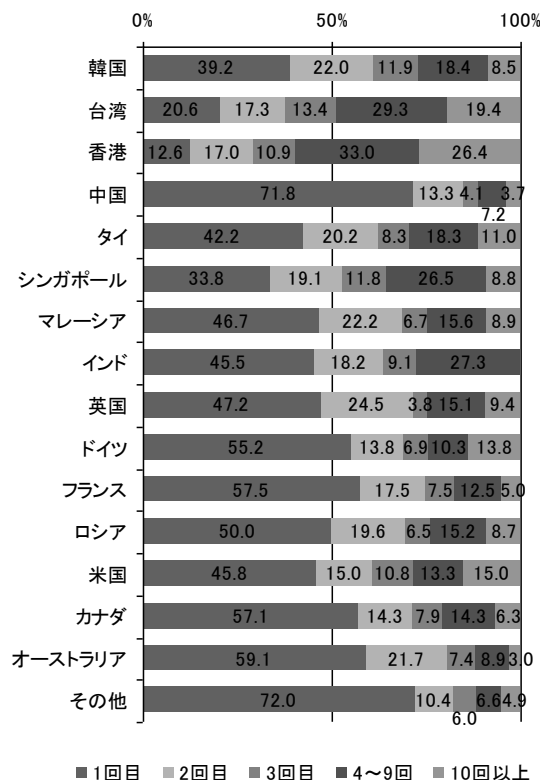
[観光・レジャー目的]

- 観光・レジャー目的で訪れた訪日外国人の滞在日数を国籍別にみると、韓国では「3日間以内」の滞在が19.9%と他国籍に比べて多い。また韓国、台湾、中国では「4～6日間」の割合が高く7割を超える。欧州やオーストラリア、東南アジアからの観光客では、東アジアからの観光客に比べて滞在日数の長い人が多い（図表1-5）。
- 日本への来訪回数では、台湾、香港で2回目以上が多く、中国では「1回目」が7割を超える（図表1-6）。
- 同行者は、東アジアでは「家族・親族」の割合が他国籍に比べて高い（図表1-7）。

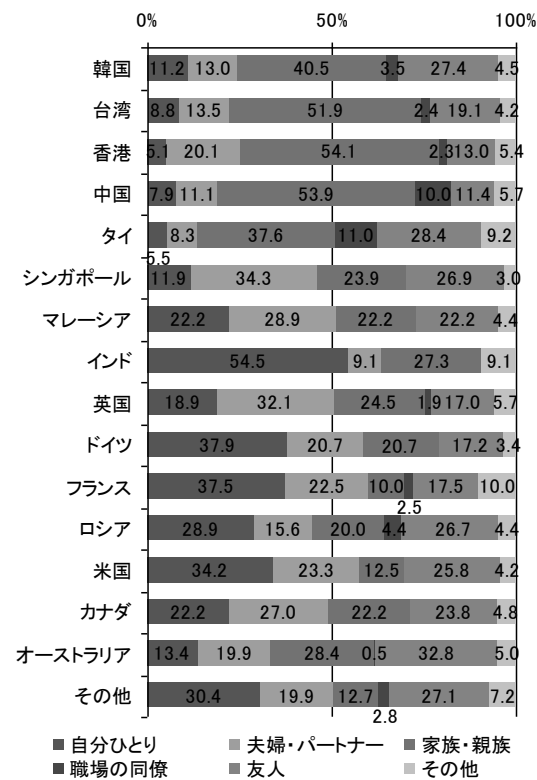
図表 1-5 滞在日数
(国籍別、観光・レジャー目的のみ)



図表 1-6 日本への来訪回数
(国籍別、観光・レジャー目的のみ)



図表 1-7 同行者
(国籍別、観光・レジャー目的のみ)



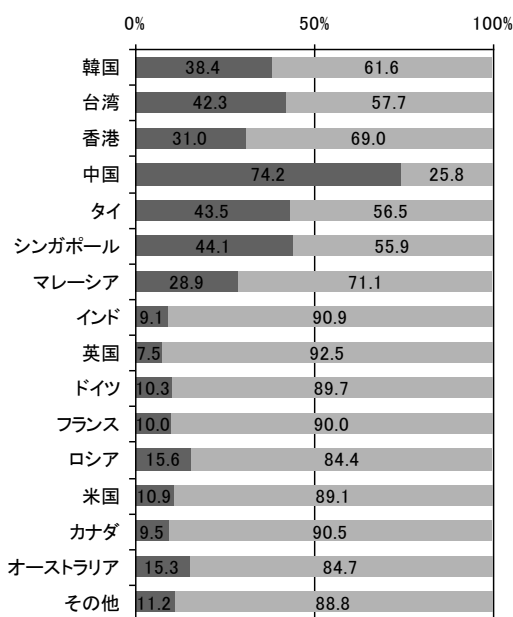
注) 「同行者」の設問は複数回答。上記図表では「同行者」を2つ以上選択した回答を「その他」として集計している。

- 利用した宿泊施設タイプ（複数回答）をみると、「ホテル（洋室中心）」の利用が主流である。中国やタイでは「旅館（和室中心）」の利用率が40%前後と高い(図表 1-8)。
- 団体ツアー参加状況をみると、中国で参加率が7割を超え、台湾、タイ、シンガポールで4割を超えている。欧米人では一般的に個人旅行が多い（図表 1-9）。

図表 1-8 宿泊施設タイプ（複数回答）
（国籍別、観光・レジャー目的のみ）

	ホテル (洋室中心)	旅館 (和室中心)	別荘・コンド ミニウム	親族・ 知人宅	(%)
韓国	87.8	13.8	0.9	5.8	
台湾	81.0	34.6	1.7	6.3	
香港	90.9	33.8	0.9	1.1	
中国	87.6	39.7	1.5	3.5	
タイ	88.1	41.3	0.9	9.2	
シンガポール	91.2	33.8	2.9	0.0	
マレーシア	88.9	28.9	2.2	6.7	
インド	72.7	0.0	0.0	27.3	
英国	73.6	11.3	17.0	9.4	
ドイツ	79.3	13.8	6.9	17.2	
フランス	72.5	15.0	5.0	10.0	
ロシア	73.9	10.9	4.3	10.9	
米国	80.7	12.6	5.0	13.4	
カナダ	76.2	22.2	1.6	19.0	
オーストラリア	74.0	34.8	8.3	4.9	
その他	81.9	24.2	3.3	11.0	

図表 1-9 団体ツアー参加状況
（国籍別、観光・レジャー目的のみ）



■ 団体ツアーでの来訪 ■ 団体ツアーでない(個人旅行)

- 宿泊地から見た旅行ルート（複数回答）をみると、東京・大阪訪問以外では、韓国からは福岡、台湾からは名古屋や京都、香港からは札幌や名古屋への訪問が上位にあがっている。中国では入国と出国で異なる空港を利用し、複数の都市を巡るルートが目立つ（図表 1-10）。

図表 1-10 宿泊地ルート
（主要国籍別、観光・レジャー目的のみ）

【韓国】

宿泊地ルート	回答数	比率
1位 関西空港→大阪→関西空港	126	13.1%
2位 羽田空港→東京→羽田空港	102	10.6%
3位 成田空港→東京→成田空港	68	7.1%
4位 博多港→福岡→博多港	36	3.8%
5位 福岡空港→福岡→福岡空港	28	2.9%
5位 中部空港→名古屋→中部空港	28	2.9%
宿泊地回答者数	959	100.0%

【台湾】

宿泊地ルート	回答数	比率
1位 羽田空港→東京→羽田空港	144	15.4%
2位 関西空港→大阪→関西空港	111	11.8%
3位 成田空港→東京→成田空港	108	11.5%
4位 中部空港→名古屋→中部空港	26	2.8%
5位 関西空港→京都→関西空港	25	2.7%
宿泊地回答者数	938	100.0%

【香港】

宿泊地ルート	回答数	比率
1位 成田空港→東京→成田空港	57	16.1%
2位 羽田空港→東京→羽田空港	29	8.2%
3位 新千歳空港→札幌→新千歳空港	21	5.9%
4位 関西空港→大阪→関西空港	14	3.9%
5位 成田空港→東京→羽田空港	7	2.0%
5位 中部空港→名古屋→中部空港	7	2.0%
宿泊地回答者数	355	100.0%

【中国】

宿泊地ルート	回答数	比率
1位 成田空港→東京→成田空港	62	11.2%
2位 羽田空港→東京→羽田空港	14	2.5%
3位 成田空港→東京→北海道→大阪→関西空港	10	1.8%
4位 新千歳空港→札幌→新千歳空港	8	1.4%
4位 成田空港→東京→北海道→関西空港	8	1.4%
4位 成田空港→東京→大阪→京都→名古屋→中部空港	8	1.4%
4位 関西空港→大阪→京都→東京→成田空港	8	1.4%
4位 那覇空港→那覇→那覇空港	8	1.4%
宿泊地回答者数	552	100.0%

【米国】

宿泊地リスト	回答数	比率
1位 成田空港→東京→成田空港	40	33.3%
2位 成田空港→成田→成田空港	7	5.8%
3位 新千歳空港→ニセコ→新千歳空港	5	4.2%
4位 関西空港→大阪→関西空港	3	2.5%
4位 成田空港→東京→京都→東京→成田空港	3	2.5%
宿泊地回答者数	120	100.0%

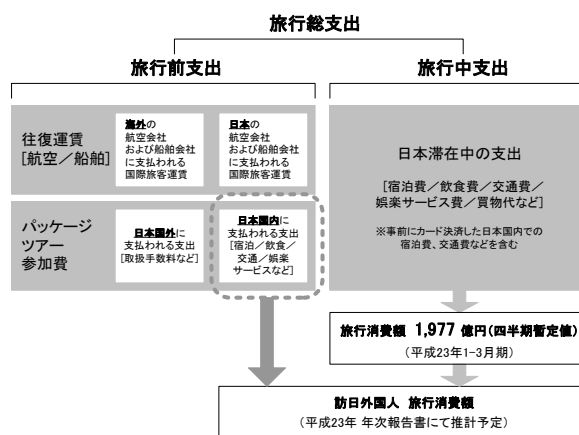
2. 訪日外国人の旅行支出

(1) 旅行支出

- 平成23年1-3月期における訪日外国人の旅行中支出額は平均113,195円と推計される。また、旅行前支出額（パッケージツアー代または日本までの往復運賃）は平均89,929円、両者を合算した総支出額は平均203,124円と推計される（図表2-2）。
- 国籍別に旅行中支出額を比較すると、オーストラリアが20.6万円と最も高く、ロシア（19.9万円）、中国（18.1万円）が続く。

- 1泊当たり旅行中支出額は7,821円、旅行前支出を含めた1泊当たり総支出額は14,034円となっている。

図表 2-1 旅行支出の推計範囲についての概念図



図表 2-2 平成23年1-3月期 訪日外国人1人当たり旅行支出（国籍別）※四半期暫定値

国籍	(人)		(円/人)		総支出額 標準誤差率	(泊)		
	標本数	a. パッケージツアー・往復航空運賃支出 (旅行前支出額)	b. 日本国内における旅行支出 (旅行中支出額)	c. 総支出額 (=a.+b.)		d. 平均泊数	1泊当たり 旅行中支出額 (=b./d.)	1泊当たり 総支出額 (=c./d.)
全国籍	6,498	89,929	113,195	203,124	-	14.5	7,821	14,034
韓国	1,448	53,815	53,640	107,455	2.4%	8.0	6,689	13,400
台湾	1,137	80,278	85,939	166,217	2.2%	7.3	11,815	22,853
香港	428	93,798	121,338	215,136	3.2%	5.6	21,589	38,278
中国	984	88,191	181,467	269,658	4.0%	29.5	6,144	9,129
タイ	308	109,848	115,753	225,601	4.7%	12.1	9,577	18,665
シンガポール	101	108,056	160,128	268,184	8.5%	10.2	15,705	26,303
マレーシア	124	116,973	136,328	253,300	6.2%	16.9	8,045	14,948
インド	98	99,533	149,856	249,389	10.4%	19.7	7,606	12,658
英国	147	145,760	157,069	302,830	8.4%	10.6	14,850	28,631
ドイツ	178	145,615	150,367	295,982	6.3%	13.5	11,178	22,003
フランス	123	147,670	130,872	278,542	5.4%	15.4	8,479	18,046
ロシア	98	90,238	199,044	289,282	7.8%	22.1	9,025	13,116
米国	484	130,962	134,191	265,153	4.4%	19.4	6,914	13,662
カナダ	134	112,814	115,216	228,031	5.1%	12.5	9,252	18,311
オーストラリア	242	153,527	206,237	359,764	4.6%	13.1	15,719	27,420
その他	464	138,246	167,258	305,503	4.9%	17.5	9,553	17,448

注) 支出額の全体平均は、国籍別平均値を日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」(1-3月期)をウェイトとして加重平均したものと

【参考】 訪日外国人1人あたり旅行支出額の推移（国籍別）

調査時期	(円/人)		(円/人)	
	旅行前支出額	旅行中支出額	総支出額	
平成22年	4-6月期	99,782	104,003	203,784
	7-9月期	92,250	119,605	211,854
	10-12月期	92,906	114,921	207,827
平成23年	1-3月期	89,929	113,195	203,124

注) 訪日外客数の更新等に伴い、前回公表値から一部数値を改訂した。

【参考】平成 23 年 1-3 月期における

- 訪日外国人の日本における旅行中支出額に、同期間の訪日外客数を乗じることで、訪日外国人の旅行消費額は 1977 億円と推計される（図表 2-3）。
- 国籍別の旅行消費額は、①中国 485 億円（構成比 24.5%）、②韓国 316 億円（同 16.0%）、③台湾 200 億円（同 10.1%）、④米国 182 億円（同 9.2%）、⑤オーストラリア 130 億円（同 6.6%）の順であり、上位 5 カ国で全体の 66.4%を占める。

（2）手配別にみる旅行支出

- パッケージツアー利用客は全体の 31.9%を占める。台湾、中国では同利用率が 4 割を超える（図表 2-4）。
- パッケージツアー購入者単価（旅行前支出額）は平均 112,330 円、ツアー利用客の旅行中支出額は同 52,273 円である。
- 個人手配客の出発国から日本までの往復運賃は平均 79,420 円、個人手配客の旅行中支出額は同 145,497 円である。
- 総支出額はツアー利用客で 164,602 円、個人手配客で 224,916 円である。

図表 2-3 平成 23 年 1-3 月期 訪日外国人の旅行消費額（国籍別）※四半期暫定値

国籍	(円/人)	(人)	(億円)	構成比
	a.日本国内における旅行支出 (旅行中支出額)	b.訪日外客数 ^{注1} (JNTO速報値)	c.訪日外国人 旅行消費額 ^{注2} (=a.×b.)	
全国籍	113,195	1,746,297	1,976.7	100.0%
韓国	53,640	589,108	316.0	16.0%
台湾	85,939	232,661	199.9	10.1%
香港	121,338	97,821	118.7	6.0%
中国	181,467	266,993	484.5	24.5%
タイ	115,753	36,709	42.5	2.1%
シンガポール	160,128	27,808	44.5	2.3%
マレーシア	136,328	21,422	29.2	1.5%
インド	149,856	14,249	21.4	1.1%
英国	157,069	37,542	59.0	3.0%
ドイツ	150,367	21,269	32.0	1.6%
フランス	130,872	24,129	31.6	1.6%
ロシア	199,044	9,426	18.8	0.9%
米国	134,191	135,741	182.2	9.2%
カナダ	115,216	28,973	33.4	1.7%
オーストラリア	206,237	63,056	130.0	6.6%
その他	167,258	139,390	233.1	11.8%

注1) 出典：日本政府観光局（JNTO） ※平成23年1-2月は暫定値、同年3月は推計値を使用した。

注2) 四半期報告書に掲載する「旅行消費額」は「旅行中支出額」の合算値であり、パッケージツアー参加費に含まれる日本国内支出や日本の航空会社および船舶会社に支払われる国際旅客運賃を含まない。

【参考】訪日外国人の旅行消費額の推移（国籍別）※四半期暫定値

調査時期	(円/人)	(人)	(億円)
	旅行中支出額	訪日外客数	旅行消費額
平成22年	4-6月期	2,186,624	2,274.2
	7-9月期	2,399,063	2,869.4
	10-12月期	2,010,476	2,310.5
平成23年	1-3月期	1,746,297	1,976.7

注) 訪日外客数の更新等に伴い、前回公表値から一部数値を改訂した。

- ・ 訪日外客数については、日本政府観光局（JNTO）が公表している平成 23 年 5 月時点の最新データを用いた。
- ・ 四半期毎に作成する旅行消費額には、パッケージ参加費に含まれる日本国内に支払われる宿泊費や日本の航空会社および船舶会社に支払われる国際旅客運賃等を含まない。

図表 2-4 手配別にみる訪日外国人1人当たり旅行支出（国籍別）※四半期暫定値

【パッケージツアー利用客】

国籍	パッケージツアー購入率 (%)	（円/人）			（泊）		
		a.パッケージツアー購入者単価（旅行前支出額）	b.日本国内における旅行支出（旅行中支出額）	パッケージツアー客総支出額（a.+b.）	d.平均泊数	1泊あたり旅行中支出額（=b./d.）	1泊あたり総支出額（=c./d.）
全国籍	31.9	112,330	52,273	164,602	5.1	10,154	31,974
韓国	37.6	76,346	24,682	101,029	3.1	8,013	32,798
台湾	44.2	110,582	48,272	158,854	4.3	11,332	37,290
香港	37.7	129,579	83,242	212,821	4.9	17,132	43,800
中国	46.4	119,452	89,336	208,788	6.8	13,141	30,712
タイ	38.5	166,337	59,098	225,435	4.2	13,988	53,357
シンガポール	34.3	167,134	57,215	224,349	6.0	9,536	37,391
マレーシア	18.0	228,948	108,533	337,481	15.5	6,992	21,742
インド	8.7	150,458	64,352	214,810	25.4	2,529	8,442
英国	6.4	317,664	55,702	373,366	6.9	8,073	54,111
ドイツ	10.6	154,544	75,282	229,826	5.7	13,324	40,677
フランス	8.4	287,544	42,016	329,560	7.8	5,374	42,153
ロシア	7.3	210,012	25,799	235,811	7.9	3,276	29,944
米国	8.0	201,464	47,227	248,692	9.8	4,819	25,377
カナダ	5.0	154,714	28,236	182,950	5.0	5,647	36,590
オーストラリア	17.3	244,298	92,094	336,392	10.9	8,462	30,908
その他	9.7	212,962	55,454	268,416	17.7	3,141	15,205

【参考】パッケージツアー利用客の旅行支出額の推移（国籍別）

調査時期	旅行前支出額（パッケージ料金）	（円/人）		（泊）			
		旅行前支出額	旅行中支出額	総支出額	平均泊数	1泊あたり旅行中支出額	1泊あたり総支出額
平成22年	4-6月期	126,050	67,310	193,360	5.2	12,894	37,039
	7-9月期	114,461	72,028	186,489	5.8	12,504	32,374
	10-12月期	122,607	64,116	186,723	5.9	10,919	31,799
平成23年	1-3月期	112,330	52,273	164,602	5.1	10,154	31,974

注）訪日外客数の更新等に伴い、前回公表値から一部数値を改訂した。

【個人手配客】

国籍	往復運賃購入率 (%)	（円/人）			（泊）		
		a.往復運賃購入者単価（旅行前支出額）	b.日本国内における旅行支出（旅行中支出額）	個人手配客総支出額（a.+b.）	d.平均泊数	1泊あたり旅行中支出額（=b./d.）	1泊あたり総支出額（=c./d.）
全国籍	68.1	79,420	145,497	224,916	17.6	8,283	12,804
韓国	62.4	40,261	75,056	115,317	11.0	6,829	10,493
台湾	55.8	56,301	119,170	175,471	9.7	12,339	18,169
香港	62.3	72,117	150,784	222,902	6.1	24,793	36,651
中国	53.6	61,153	276,418	337,571	49.2	5,618	6,861
タイ	61.5	74,542	156,474	231,016	17.0	9,204	13,589
シンガポール	65.7	77,194	203,962	281,156	12.4	16,464	22,696
マレーシア	82.0	92,444	144,049	236,493	17.3	8,347	13,704
インド	91.3	94,709	157,338	252,046	19.2	8,213	13,156
英国	93.6	133,986	162,180	296,166	10.8	14,977	27,350
ドイツ	89.4	144,552	162,676	307,228	14.4	11,312	21,364
フランス	91.6	134,848	140,280	275,129	16.1	8,695	17,053
ロシア	92.7	80,751	215,657	296,407	23.2	9,304	12,788
米国	92.0	124,858	141,618	266,475	20.2	6,997	13,166
カナダ	95.0	110,592	119,835	230,427	12.8	9,327	17,934
オーストラリア	82.7	134,580	228,187	362,767	13.6	16,794	26,699
その他	90.3	130,181	179,572	309,754	17.5	10,265	17,707

【参考】個人手配客の旅行支出額の推移（国籍別）

調査時期	旅行前支出額（往復運賃）	（円/人）		（泊）			
		旅行前支出額	旅行中支出額	総支出額	平均泊数	1泊あたり旅行中支出額	1泊あたり総支出額
平成22年	4-6月期	84,111	125,486	209,597	16.5	7,604	12,701
	7-9月期	82,180	142,090	224,270	18.2	7,788	12,292
	10-12月期	82,326	134,994	217,320	13.3	10,147	16,335
平成23年	1-3月期	79,420	145,497	224,916	17.6	8,283	12,804

注）訪日外客数の更新等に伴い、前回公表値から一部数値を改訂した。

(3) 来訪目的別にみる旅行支出

- 来訪目的別の旅行中支出額は、「観光・レジャー」92,855円、「商談等その他ビジネス」133,782円、「親族・知人訪問」102,199円などとなっている(図表2-5)。
- 来訪目的別の市場規模を推計すると、「観

光・レジャー」の旅行消費額は952億円で全体の48.1%を占める。これに対し、「展示会・見本市」「国際会議」「研修」「商談等その他ビジネス」を合算した「業務」目的の旅行消費額は541億円で、全体の27.3%を占める。

図表2-5 来訪目的別にみる訪日外国人1人当たり旅行中支出額(主要国籍別) ※四半期暫定値

来訪目的	観光・レジャー	親族・知人訪問	ハネムーン	学校関連の旅行	イベント	留学	インセンティブツアー	業務				その他	
								展示会・見本市	国際会議	研修	商談等その他ビジネス		
旅行中支出額 (円/人)	全国籍	92,855	102,199	107,606	31,601	131,445	418,845	59,898	103,549	108,161	121,963	133,782	187,125
	韓国	45,070	64,491	61,700	24,343	56,500	287,148	42,000	46,514	58,550	32,550	68,055	43,341
	台湾	80,639	91,021	47,896	25,000	100,000	193,483	180,634	55,000	94,590	45,200	117,941	236,570
	香港	121,357	100,363	138,550	-	283,333	-	-	60,000	67,500	53,047	110,528	140,667
	中国	108,792	177,783	148,850	45,852	219,646	617,749	39,250	206,340	367,200	251,947	193,689	381,273
	米国	118,498	100,748	82,350	46,992	45,391	504,014	-	298,977	68,782	110,834	146,885	130,028
【参考】消費額 (億円)	全国籍	951.9	136.6	13.0	9.2	9.5	195.1	3.3	25.4	42.9	81.1	391.1	119.7
	韓国	174.9	28.4	1.7	5.0	0.5	34.9	0.2	6.4	2.6	6.5	50.4	3.5
	台湾	154.6	8.6	1.0	0.1	0.2	6.7	1.1	0.7	1.5	0.9	21.5	4.4
	香港	97.6	3.2	1.6	0.1	1.9	0.9	0.0	0.3	1.2	0.8	8.3	1.0
	中国	162.3	33.1	4.4	0.9	4.2	108.5	0.4	4.5	13.9	34.0	86.4	37.1
	米国	38.6	21.9	0.7	1.9	0.7	21.9	0.0	3.2	3.2	10.5	59.4	19.4
目的別構成比 (%) ヨコ計=100	全国籍	48.1	6.9	0.7	0.5	0.5	9.9	0.2	1.3	2.2	4.1	19.8	6.0
	韓国	55.5	9.0	0.6	1.6	0.1	11.1	0.1	2.0	0.8	2.0	16.0	1.1
	台湾	76.8	4.3	0.5	0.0	0.1	3.3	0.6	0.3	0.8	0.5	10.7	2.2
	香港	83.5	2.7	1.3	0.1	1.6	0.8	0.0	0.2	1.0	0.7	7.1	0.8
	中国	33.1	6.8	0.9	0.2	0.8	22.2	0.1	0.9	2.8	7.0	17.6	7.6
	米国	21.3	12.1	0.4	1.1	0.4	12.1	0.0	1.8	1.7	5.8	32.7	10.7

注) 上表における「消費額」は「旅行中支出額」に「訪日外客数」を乗じて算出したものであり、「旅行前支出額」に含まれる国内収入分は含まれていない。
来訪目的無回答者が存在するため、上表の来訪目的別消費額の合計値は平成23年1-3月期旅行消費額とは一致しない。

上表各セルの標本数	全国籍	韓国	台湾	香港	中国	米国
全国籍	3,717	494	46	86	29	170
韓国	950	108	7	51	2	30
台湾	934	46	10	1	1	17
香港	352	14	5	1	3	1
中国	547	68	11	7	7	65
米国	116	79	3	15	5	16

注) 標本数が小さい数値については、取り扱いに留意されたい。

3. 土産品の購入実態

(1) 費目別購入率

- 最も購入率（その費目を購入した人の割合）の高い費目は「菓子類」であり、訪日外国人のおよそ半数が購入している。次いで「その他食料品・飲料・酒・たばこ」や「化粧品・医薬品・トイレタリー」の購入率が高い。国籍別では、多くの費目で中国の購入率が高い（図表 3-1）。

(2) 費目別購入者単価

- 費目別の購入者単価（その費目を購入した人における当該費目の平均支出額）は、「カメラ・ビデオカメラ・時計」が4万円超と高い。
- 来訪目的別にみると、購入率は「観光・レジャー」客の方が「業務」客に比べて高い傾向があるが、購入者単価の大小は国籍や費目によって異なる（図表 3-2）。

図表 3-1 費目別購入率および購入者単価（主要国籍別）

国籍	全国籍		韓国		台湾		香港		中国		米国	
	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)
菓子類	51.5%	9,058	55.4%	4,944	64.4%	8,096	64.7%	9,319	67.2%	16,113	27.5%	5,440
その他食料品・飲料・酒・たばこ	39.7%	11,313	40.4%	7,067	29.0%	9,975	35.7%	13,813	40.1%	13,489	39.6%	18,602
カメラ・ビデオカメラ・時計	8.4%	45,018	2.5%	10,101	6.6%	34,335	5.3%	38,658	24.7%	59,182	4.2%	67,112
電気製品	8.0%	31,680	3.6%	17,838	6.9%	30,695	4.1%	32,628	25.3%	40,665	3.6%	7,774
化粧品・医薬品・トイレタリー	33.1%	17,081	30.6%	10,003	53.2%	13,800	43.4%	15,483	60.7%	29,541	6.4%	5,572
和服(着物)・民芸品	10.3%	19,190	3.1%	5,776	9.0%	11,053	8.2%	12,950	8.8%	13,282	18.9%	15,441
服(和服以外)・かばん・靴	28.9%	33,598	19.3%	16,348	46.9%	32,496	54.4%	53,427	35.6%	53,825	16.5%	20,691
マンガ・DVD・アニメ関連商品	6.6%	10,806	4.1%	6,354	9.8%	13,059	10.8%	12,972	7.1%	10,043	5.3%	8,032

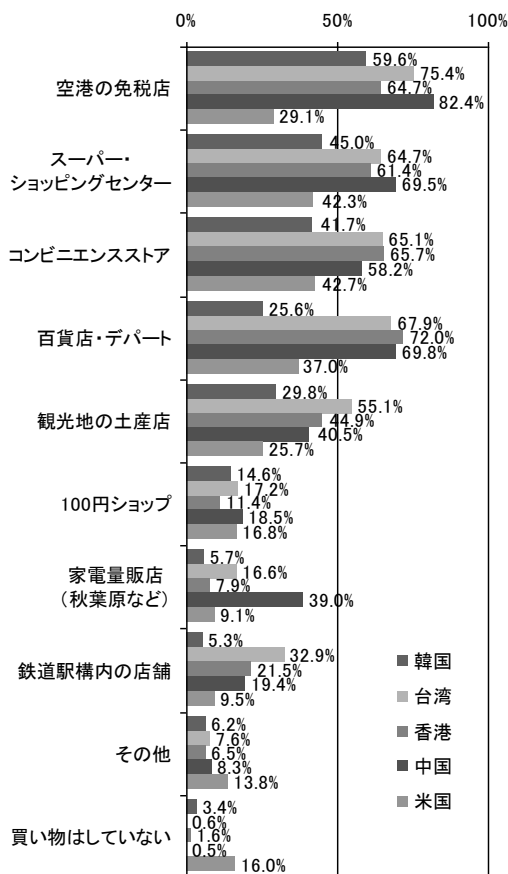
図表 3-2 来訪目的別にみる費目別購入率および購入者単価（主要国籍別）

国籍	来訪目的	韓国		台湾		香港		中国		米国	
		購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)
菓子類	観光・レジャー	56.8%	4,464	65.6%	8,212	63.9%	9,640	69.6%	14,321	30.7%	5,923
	業務	52.9%	5,335	51.8%	6,907	67.3%	6,432	68.5%	13,913	22.1%	4,050
その他食料品・飲料・酒・たばこ	観光・レジャー	43.2%	6,262	29.6%	8,863	34.0%	15,725	37.4%	13,480	41.2%	11,252
	業務	36.2%	9,541	30.4%	8,125	51.0%	6,571	44.0%	12,421	32.6%	17,464
カメラ・ビデオカメラ・時計	観光・レジャー	3.2%	7,709	6.8%	30,285	5.0%	21,301	23.3%	60,015	3.5%	51,000
	業務	1.8%	23,516	3.6%	103,250	4.1%	80,000	30.6%	64,117	2.1%	27,000
電気製品	観光・レジャー	3.3%	14,324	7.3%	22,221	4.1%	32,649	27.0%	32,585	4.4%	2,431
	業務	4.0%	9,606	4.5%	96,600	2.0%	15,000	19.4%	58,612	3.2%	12,300
化粧品・医薬品・トイレタリー	観光・レジャー	34.5%	10,400	54.4%	13,381	44.3%	14,819	66.2%	28,844	14.0%	5,018
	業務	19.2%	9,174	42.0%	17,401	36.7%	16,836	56.0%	29,323	2.1%	3,054
和服(着物)・民芸品	観光・レジャー	4.2%	5,070	9.9%	11,180	8.8%	10,194	12.1%	13,264	19.3%	23,200
	業務	0.7%	12,250	4.5%	6,450	4.1%	3,000	4.7%	9,870	14.7%	10,481
服(和服以外)・かばん・靴	観光・レジャー	21.6%	15,807	48.5%	32,714	59.8%	53,937	41.2%	55,842	26.3%	27,250
	業務	9.8%	21,666	29.5%	31,839	22.4%	30,786	20.3%	44,768	9.5%	22,424
マンガ・DVD・アニメ関連商品	観光・レジャー	4.4%	6,280	10.2%	14,107	11.7%	11,400	7.2%	9,530	3.5%	2,706
	業務	1.8%	8,000	6.3%	8,500	8.2%	4,575	5.2%	6,377	3.2%	7,276

(3) 買物場所

- 買物場所を国籍別にみると、台湾や香港、中国はどの買物場所でも比較的利用率が高い。中でも「空港の免税店」は中国、「百貨店・デパート」は香港、「観光地の土産店」は台湾での利用率が高い。また、「家電量販店」では中国人の利用率が 39.0%と圧倒的に高い（図表 3-3）。

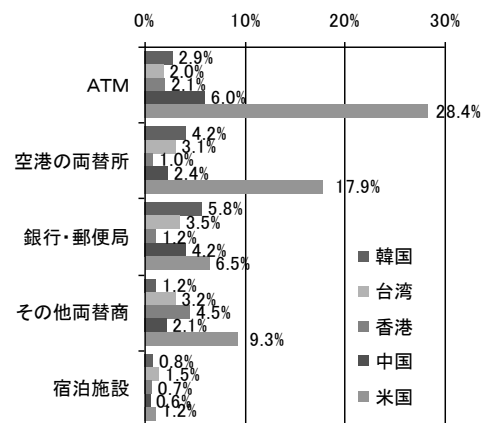
図表 3-3 買物場所（主要国籍別、複数回答）



(4) 利用した金融機関と決済方法

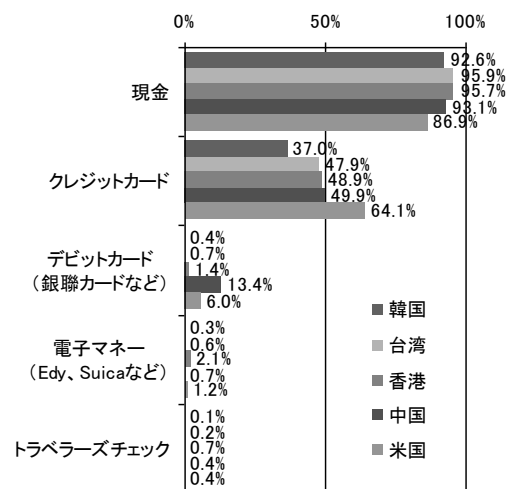
- 利用した金融機関を国籍別にみると、米国では「ATM（現金自動預払機）」や「空港の両替所」の利用率が他国籍に比べ際だって高い（図表 3-4）。

図表 3-4 利用金融機関（主要国籍別、複数回答）



- 決済方法では「現金」が9割前後を占める。次いで「クレジットカード」の利用率が高い。「デビットカード」の利用率は中国で 13.4%、米国で 6.0%となっている。「電子マネー」の利用率は、香港で 2.1%となっている（図表 3-5）。

図表 3-5 利用決済方法（主要国籍別、複数回答）

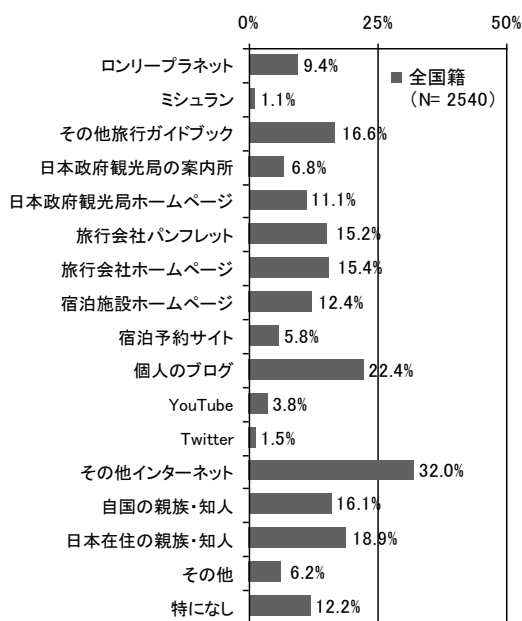


4. 旅行情報源

(1) 出発前に得た旅行情報

- 出発前に得た旅行情報で役に立ったものは、ガイドブックでは「ロンリープラネット」が9.4%、「ミシュラン」が1.1%、「その他旅行ガイドブック」が16.6%となっている（図表4-1）。
- 「日本政府観光局の案内所」の選択率は6.8%、「日本政府観光局ホームページ」の選択率は11.1%であった。
- インターネット媒体も幅広く利用されており、中でも「個人のブログ」(22.4%)をあげる回答が多い。
- 知人からの口コミも多く、「日本在住の親族・知人」は18.9%、「自国の親族・知人」は16.1%であった。

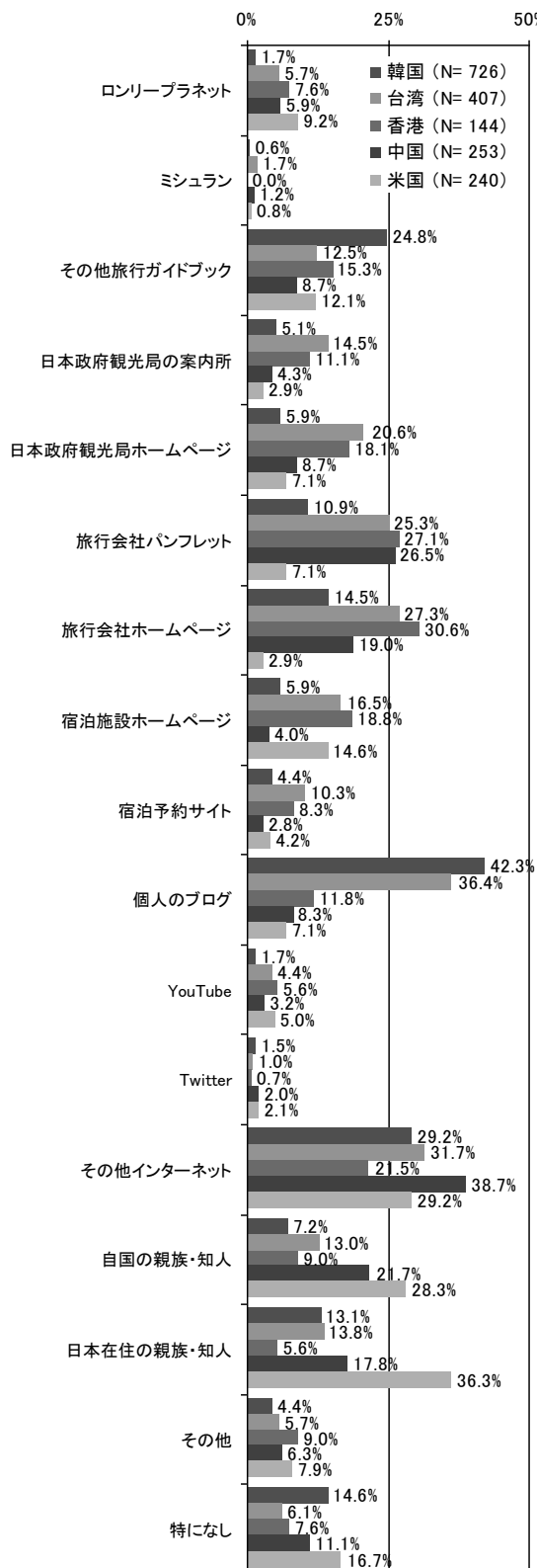
図表 4-1 出発前に得た旅行情報で役に立ったもの
(全国籍、複数回答)



- 国籍別にみると、韓国では「個人のブログ」が42.3%、「その他インターネット」が29.2%、「その他旅行ガイドブック」が24.8%と高い（図表4-2）。
- 台湾では「個人のブログ」が36.4%、「その他インターネット」が31.7%と高い。旅行会社の情報が役に立ったとの回答も多く、「旅行会社パンフレット」が25.3%、「旅行会社ホームページ」が27.3%となっている。
- 香港でも、旅行会社の情報が役に立ったとの回答が多く、「旅行会社ホームページ」が30.6%、「旅行会社パンフレット」が27.1%と高い。また、「宿泊施設ホームページ」も18.8%と他国籍に比べて高い。
- 中国では、「その他インターネット」(38.7%)や「旅行会社パンフレット」(26.5%)の選択率が高い。
- 米国では、親族や知人からの口コミをあげる声が多く、「日本在住の親族・知人」が36.3%、「自国の親族・知人」が28.3%となっている。

注) この章に示す調査結果は、「訪日外国人消費動向調査」と同時に実施した旅行の満足度や再来訪意向等の意識調査より得られたものである。回答は任意としているため、必ずしも全調査対象者が回答しているとは限らない。なお、この章で示す『全体(全国籍)』の値は、訪日外客数によるウェイトバック集計を行っていない。

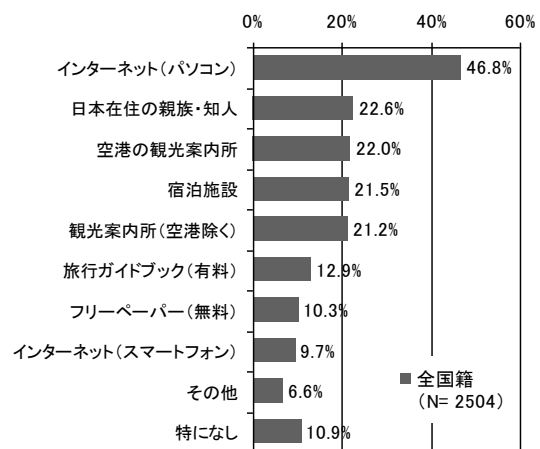
図表 4-2 出発前に得た旅行情報で役に立ったもの
(主要国籍別、複数回答)



(2) 日本滞在中に得た旅行情報

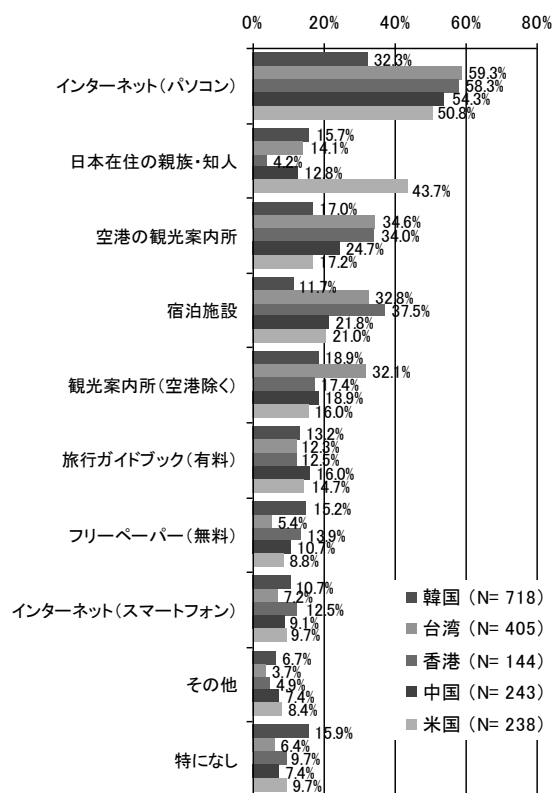
- 日本滞在中に得た旅行情報で役に立ったものは、回答者全体で①「インターネット (パソコン)」46.8%、②「日本在住の親族・知人」22.6%、③「空港の観光案内所」22.0%の順で多い(図表 4-3)。

図表 4-3 日本滞在中に得た旅行情報で役に立ったもの(全国籍、複数回答)



- 国籍別にみると、「インターネット (パソコン)」は台湾 (59.3%) や香港 (58.3%)、中国 (54.3%) での選択率が高い。「日本在住の親族・知人」では米国 (43.7%) の高さが目立つ。このほか、「空港の観光案内所」や「宿泊施設」では台湾や香港、「観光案内所 (空港除く)」では台湾、「フリーペーパー (無料)」では韓国や香港の選択率の高さが目立つ (図表 4-4)。

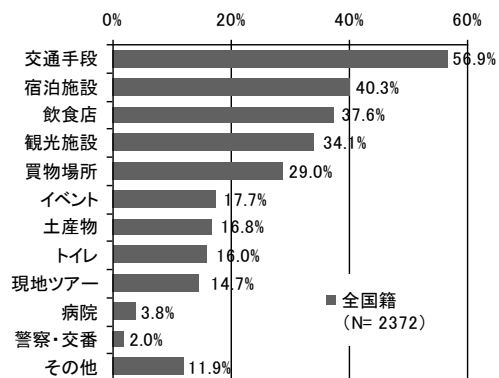
図表 4-4 日本滞在中に得た旅行情報で役に立ったもの(主要国籍別、複数回答)



(3) 日本滞在中にあると便利な情報

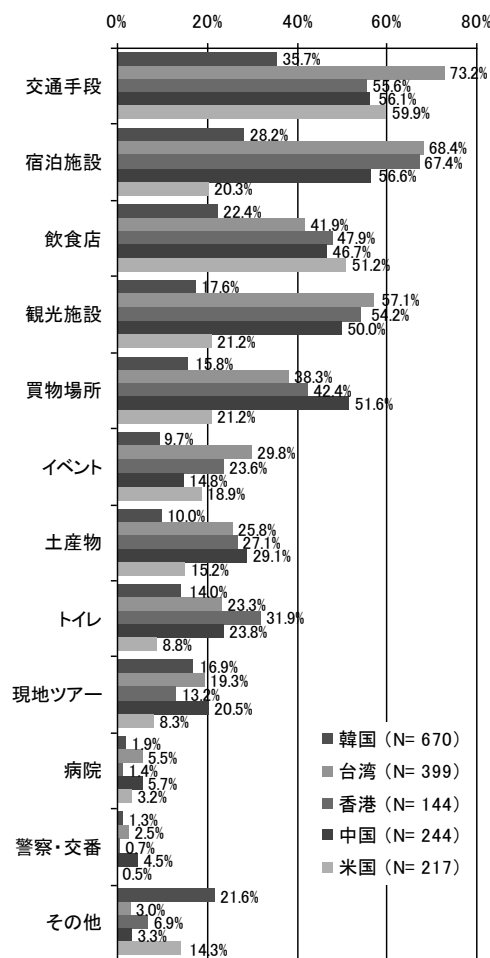
- 日本滞在中にあると便利な情報を尋ねたところ、回答者全体では①「交通手段」が56.9%と圧倒的に多く、次いで②「宿泊施設」40.3%、③「飲食店」37.6%の順で希望する声が多かった(図表4-5)。

図表 4-5 日本滞在中にあると便利な情報(全国籍、複数回答)



- 国籍別にみると、「交通手段」の情報は台湾での選択率が特に高い。「宿泊施設」情報は台湾や香港での選択率が高い。また、「飲食店」情報は米国でのニーズが高かった。このほか、「観光施設」や「イベント」など旅行先の娯楽情報を求める声は台湾で多くみられた(図表4-6)。

図表 4-6 日本滞在中にあると便利な情報(主要国籍別、複数回答)

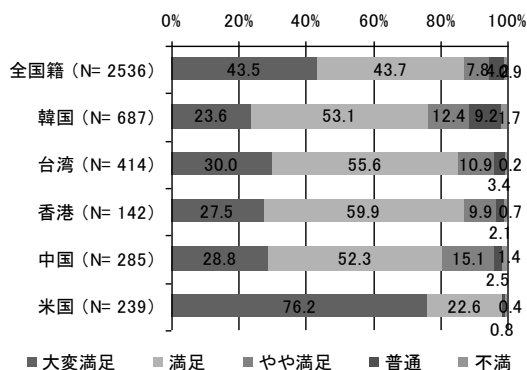


5. 満足度と再訪意向

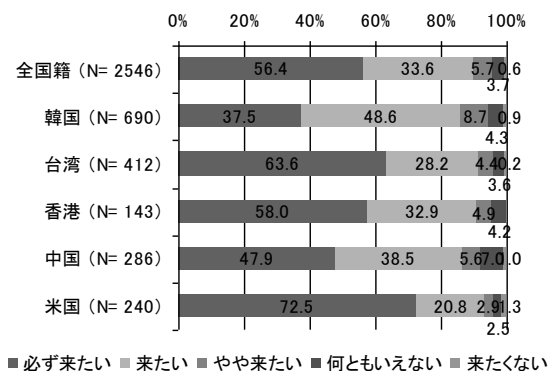
(1) 訪日旅行全体の満足度と再訪意向

- 今回の訪日旅行全体の満足度は「大変満足」43.5%、「満足」43.7%である(図表 5-1)。
- 米国では「大変満足」の割合が 76.2%で、主要国籍の中で最も高い。東アジアでは、今期は台湾が 30.0%と高い。主要国籍以外では、英国、フランス、カナダ、オーストラリアで「大変満足」の比率が 7 割を超えている。
- 再訪意向は「必ず来たい」が 56.4%、「来たい」が 33.6%である(図表 5-2)。

図表 5-1 訪日旅行の満足度(主要国籍別)



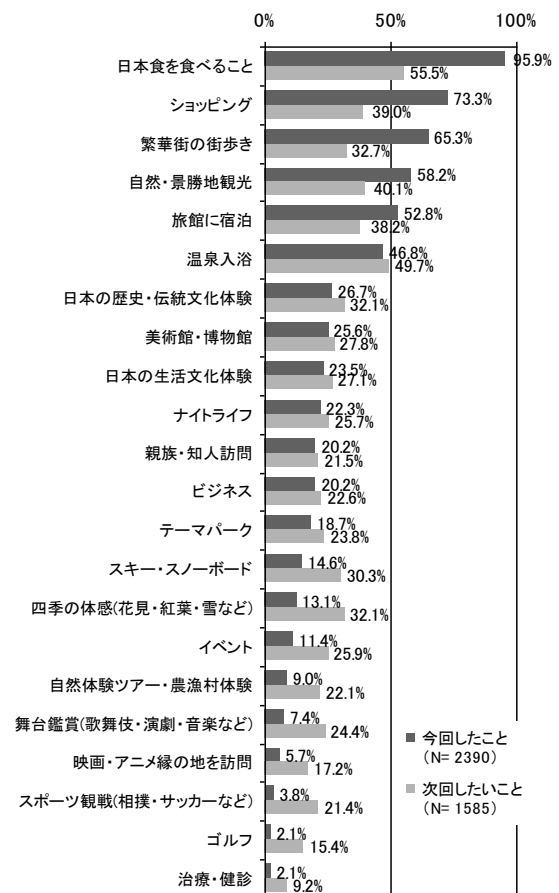
図表 5-2 訪日旅行者の再訪意向(主要国籍別)



(2) 今回実施した活動と次回実施したい活動

- 今回実施した活動は「日本食を食べること」95.9%、「ショッピング」73.3%、「繁華街の街歩き」65.3%の順で多い。また、今期は「スキー・スノーボード」が 14.6%と高くなっている(図表 5-3)。
- 次回実施したいことは、「日本食を食べること」55.5%、「温泉入浴」49.7%、「自然・景勝地観光」40.1%の順である。
- 今回実施率より次回実施希望率が高い活動は、「スキー・スノーボード」「四季の体感」「スポーツ観戦」「舞台鑑賞」「イベント」などである。

図表 5-3 今回実施した活動と次回実施したい活動(全国籍、複数回答)

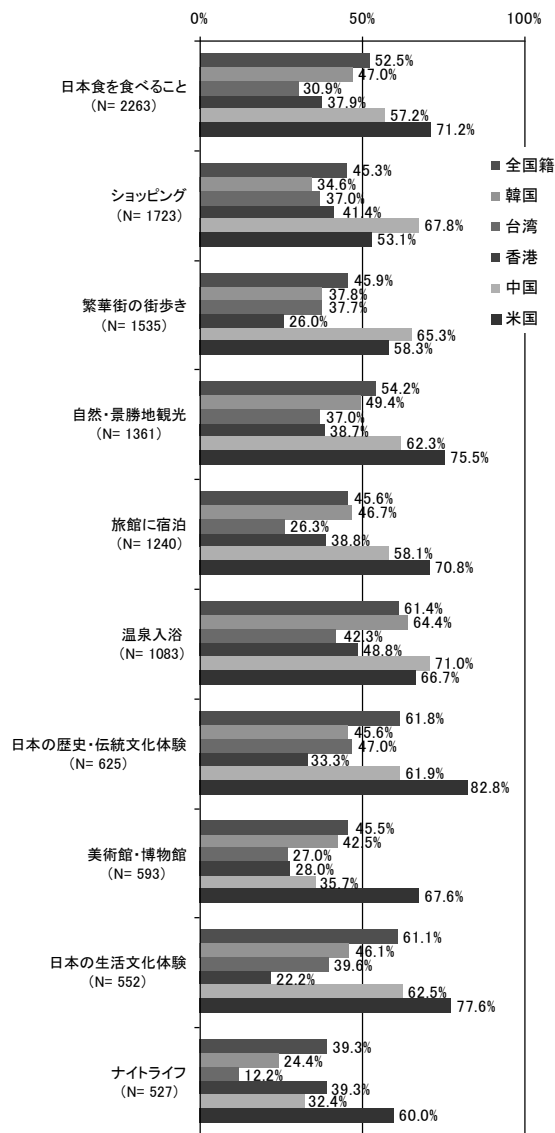


注) この章に示す調査結果は、「訪日外国人消費動向調査」と同時に実施した旅行の満足度や再来訪意向等の意識調査より得られたものである。回答は任意としているため、必ずしも全調査対象者が回答しているとは限らない。なお、この章で示す『全体(全国籍)』の値は、訪日外客数によるウェイトバック集計を行っていない。

(3) 活動別にみる満足度

- 今回実施した活動に対して「期待以上」「期待通り」「不満」の3段階評価で満足度を尋ねた。活動の実施率上位10位までの活動について「期待以上」の比率をみると、「温泉入浴」や「日本の歴史・伝統文化体験」「日本の生活文化体験」が6割超と高い。国籍別では、どの活動でも米国の満足度が高い(図表5-4)。

図表 5-4 期待以上だった活動 (主要国籍別、実施率上位10活動)



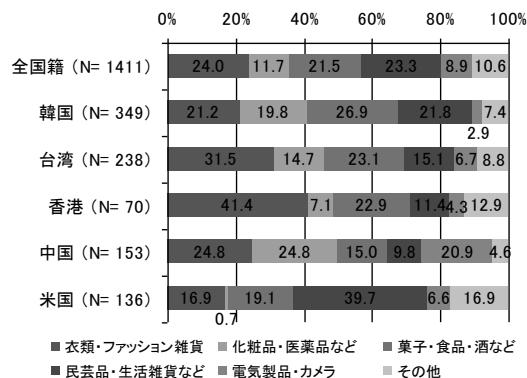
(4) 最も満足した購入商品

- 今回の訪日旅行で購入した商品のうち、最も満足したものを1つ自由に回答してもらい、図表5-5に示す区分に分類して集計を行った。結果、「衣類・ファッション雑貨」24.0%、「化粧品・医薬品など」11.7%、「菓子・食品・酒など」21.5%、「民芸品・生活雑貨など」23.3%、「電気製品・カメラ」8.9%、「その他」10.6%という分布となった(図表5-6)。

図表 5-5 最も満足した購入商品 商品区分

商品大区分	商品小区分
衣類・ファッション雑貨	衣類
	ファッション雑貨(時計含む)
化粧品・医薬品など	化粧品
	香水
	医薬品・健康グッズ
菓子・食品・酒など	菓子類
	その他食品
	酒・タバコ類
民芸品・生活雑貨など	民芸品・工芸品
	生活雑貨
	書籍・絵葉書・音楽CD・芸術品
	まんが・アニメ・キャラクター関連
	スポーツ関連
電気製品・カメラ	電気製品
	カメラ
その他	その他商品
	サービス
	その他

図表 5-6 最も満足した購入商品 (商品大区分、主要国籍別)



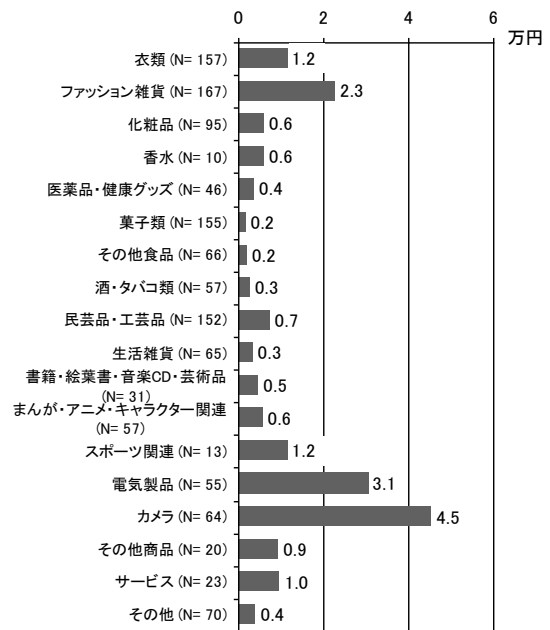
- 国籍別に、最も満足した購入商品（小区分）の比率をみると、韓国では「菓子類」（16.3%）、台湾では「衣類」（19.7%）、香港では「衣類」（24.3%）、中国では「化粧品」（18.3%）、米国では「民芸品・工芸品」（27.9%）の割合が高い。また、中国は「電気製品」や「カメラ」の割合が他の国籍に比べて高い（図表 5-7）。

図表 5-7 最も満足した購入商品
（商品小区分、主要国籍別）

商品小区分	国籍	（%）				
		韓国	台湾	香港	中国	米国
衣類		8.6	19.7	24.3	7.8	8.1
ファッション雑貨		12.6	11.8	17.1	17.0	8.8
化粧品		13.5	5.9	2.9	18.3	0.7
香水		0.6	0.8	0.0	2.0	0.0
医薬品・健康グッズ		5.7	8.0	4.3	4.6	0.0
菓子類		16.3	11.8	18.6	9.8	8.8
その他食品		5.7	6.7	1.4	2.0	4.4
酒・タバコ類		4.9	4.6	2.9	3.3	5.9
民芸品・工芸品		6.6	5.9	5.7	3.3	27.9
生活雑貨		6.9	2.9	1.4	4.6	3.7
書籍・絵葉書・音楽CD・芸術品		2.0	2.9	1.4	0.0	2.2
まんが・アニメ・キャラクター関連		4.9	3.4	0.0	2.0	5.9
スポーツ関連		1.4	0.0	2.9	0.0	0.0
電気製品		1.4	4.2	1.4	9.8	1.5
カメラ		1.4	2.5	2.9	11.1	5.1
その他商品		0.6	2.9	1.4	2.6	2.2
サービス		2.0	0.4	0.0	0.0	5.9
その他		4.9	5.5	11.4	2.0	8.8
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
標本数		349	238	70	153	136

- 最も満足した購入商品（小区分）の単価をみると、「カメラ」4.5万円、「電気製品」3.1万円、「ファッション雑貨」2.3万円の順で高い（図表 5-8）。

図表 5-8 最も満足した購入商品の単価
（商品小区分、全国籍）



- 満足した理由（自由回答）を10区分に分類して集計を行ったところ、「品質が良いから」「デザインが良い・かわいい・きれい」「おいしいから」など、品質に関する回答が全体の6割弱を占める。このほか、「衣類・ファッション雑貨」や「化粧品・医薬品など」「電気製品・カメラ」では「価格が手頃・自国より安いから」の割合が高かった（図表 5-9）。

図表 5-9 最も満足した購入商品についてその理由
（商品大区分、全国籍）

商品大区分	満足した理由	標本数	理由										合計
			品質が良いから	デザインが良い・かわいい・きれい	おいしいから	日本製だから	伝統的・日本独特なものだから	好きなブランド・商品だから	自国で入手が難しいから	お土産にいいから・贈られたから	価格が手頃・自国より安いから	その他	
衣類・ファッション雑貨		326	19.0	36.5	0.0	11.3	0.6	1.5	3.7	3.4	18.7	5.2	100.0
化粧品・医薬品など		150	51.3	2.0	0.0	13.3	0.0	3.3	2.0	4.0	21.3	2.7	100.0
菓子・食品・酒など		284	4.6	8.1	60.9	2.8	3.2	2.8	4.6	5.3	5.3	2.5	100.0
民芸品・生活雑貨など		310	11.3	31.0	0.0	5.5	10.3	6.8	12.6	7.1	8.1	7.4	100.0
電気製品・カメラ		117	43.6	6.8	0.0	14.5	0.0	0.9	7.7	0.0	18.8	7.7	100.0
その他		127	13.4	1.6	52.0	0.8	3.1	1.6	2.4	1.6	5.5	18.1	100.0
合計		1,314	19.4	19.1	18.2	7.6	3.6	3.2	6.0	4.3	12.3	6.3	100.0

Ⅱ 訪日外国人消費動向調査結果

1. 調査概要
2. 調査結果の利用上の注意

<集計表>

第1表	国籍別 標本属性および旅行内容	表 -1
第2表	居住地別 標本属性および旅行内容	表 -7
第3表	主な宿泊地別 標本属性および旅行内容	表-13
第4表	国籍別 費目別購入率および購入者単価	表-33
第5表	居住地別 費目別購入率および購入者単価	表-34
第6表	主な宿泊地別 費目別購入率および購入者単価	表-35
第7表	国籍別 1人1回当たり旅行消費単価	表-39
第8表	居住地別 1人1回当たり旅行消費単価	表-42
第9表	主な宿泊地別 1人1泊当たり旅行消費単価	表-45
参考表	国籍別 旅行情報源・活動内容・満足度など	表-65

<調査票>

日本語、英語、韓国語、中国語（繁体字）、中国語（簡体字）

1. 調査概要

(1) 調査対象者

日本を出国する訪日外国人

ただし、1年以上の滞在者、「永住者」「日本人の配偶者」「永住者の配偶者」「定住者」など日本に居住している人、日本に入国しないトランジット客、乗員を除く。

(2) 調査場所

下記 11 空海港の国際線ターミナル搭乗待合ロビー

※調査空海港：新千歳空港、仙台空港、新潟空港、東京国際空港（羽田空港）、成田国際空港、中部国際空港、関西国際空港、広島空港、福岡空港、那覇空港、博多港

注) 調査対象便運休のため、今期は新潟空港での調査を実施していない。

(3) 調査時期

平成 23 年 1 月 20 日（木）～ 2 月 15 日（火）

(4) 調査方法

10 言語対応のタッチパネル式 PC または紙調査票を用い、外国語を話せる調査員による聞き取り調査を実施

※調査対応言語：英語、韓国語、中国語（繁体字、簡体字）、タイ語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、イタリア語、スペイン語

(5) 調査標本数

ビジット・ジャパン事業の重点市場である 15 の国・地域別に目標サンプル数を設定、合計 6,500 サンプルを目標に調査を実施し、6,649 サンプル（うち旅行中支出額の有効サンプル数は 6,498 サンプル）の回答を得た。

(6) その他

本調査は、統計法（平成 19 年法律第 53 号）第 2 条に規定する一般統計として実施した。なお、一般統計の実施と併せ、旅行の満足度や再訪意向等の意識調査を同時に行った。

2. 調査結果の利用上の注意

(1) 国籍別ウェイトバック集計の実施

本調査の標本は国籍毎に抽出率が異なるため、母集団構成に合わせることを目的として国籍別ウェイトバック集計を行った。具体的には、第 1 表、第 4 表、第 7 表（国籍別集計表）の『全体』列に係る数値（標本数を除く）について、ビジット・ジャパン事業の重点市場である 15 の国・地域と「それ以外の国・地域」の 16 区分の訪日外客数を元に重み付けを行って算出した（居住地別や主な宿泊地別のウェイトバック集計は行っていないため、第 2 表、第 3 表、第 5 表、第 6 表、第 8 表、第 9 表では『全体』列の表記がない点に留意されたい）。

なお、参考表（一般統計と併せて実施した任意調査の結果）の『全体』列に係る数値については国籍別ウェイトバック集計を行っておらず、標本全体の平均値を掲示している点に留意されたい。

(2) 旅行支出額の円換算方法

旅行支出額については、円または自国の通貨で調査し、原則として IMF（国際通貨基金）公表の日次データによる調査期間中平均値を用いて円換算した。但し、IMF にデータが無い台湾ドル、香港ドルなどについては、FRB（連邦準備制度理事会）の資料を基に円換算を作成した。

(3) その他の注意点

集計事項により、標本数が小さい数値については、取り扱いに留意されたい。

調査結果中の合計値は、四捨五入の関係で一致しない場合がある。また、一部に無回答データが存在することから、合計値と内訳の積算値は必ずしも一致しない。

[東日本大震災の影響について]

本調査結果は平成23年1-3期の数値であるが、調査期間は平成23年1月20日～2月15日であり、東日本大震災（平成23年3月11日）以降の期間は含まれていない。したがって、今期数値の活用にあたっては、以下の点に留意されたい。

本調査結果から直接得られる国籍別の数値（旅行内容の構成比や旅行消費単価など）には、東日本大震災の影響は含まれない。

ただし、全国籍の数値は日本政府観光局（JNTO）公表の平成23年1～3月の「訪日外客数」を用いて国籍別のウェイトバック処理を行っている。そのため、この処理に用いた国籍別訪日外客数構成比には、東日本大震災の影響が含まれている点に留意されたい。

なお、旅行消費総額の推計値は、本調査で得られた旅行消費単価にJNTO「訪日外客数」を乗じることによって算出している。前者（旅行消費単価）には東日本大震災の影響は含まれないが、後者（訪日外客数）には同影響が含まれる。

訪日外国人の消費動向
平成 23 年 1-3 月期 報告書

発 行 平成 23 年 5 月

編 集 国土交通省観光庁参事官
(観光経済担当)

〒100-8918

東京都千代田区霞が関 2 丁目 1 番 3 号

電話 代表 03 (5253) 8111

内線 27212、27216

直通 03 (5253) 8325

URL <http://www.mlit.go.jp/kankocho/>